

2023年12月期 第2四半期 決算補足説明資料

株式会社 ミズホメディー(証券コード4595)

2023年8月10日

- I 会社概要**
- II 事業概要**
- III 2023年12月期**
 - ・第2四半期決算実績
 - ・通期業績予想（2月10日公表）
- IV 今後の成長戦略**

I 会社概要

会社概要



- 商号 株式会社 ミズホメディー（証券コード4595）
- 設立 1977年11月2日
- 本社所在地 佐賀県鳥栖市藤木町 5 番地の 4
- 代表者 代表取締役会長兼社長 唐川文成
- 従業員数 181名（2023年6月30日現在）
- 事業内容
 - ・病院・開業医向け体外診断用医薬品の開発・製造・販売
 - ・OTC（薬局・薬店）向け検査薬の開発・製造・販売
- 主要取引先 株式会社メディセオ、東邦薬品株式会社
株式会社スズケン、アルフレッサ株式会社
株式会社アステム、富士フイルム株式会社 他
- 営業拠点
 - ・本社 ・東京営業所 ・大阪営業所
 - ・名古屋営業所 ・その他各地駐在
- 開発拠点
 - ・本社（鳥栖）・遺伝子研究所(久留米)



本社・工場（佐賀県鳥栖市）

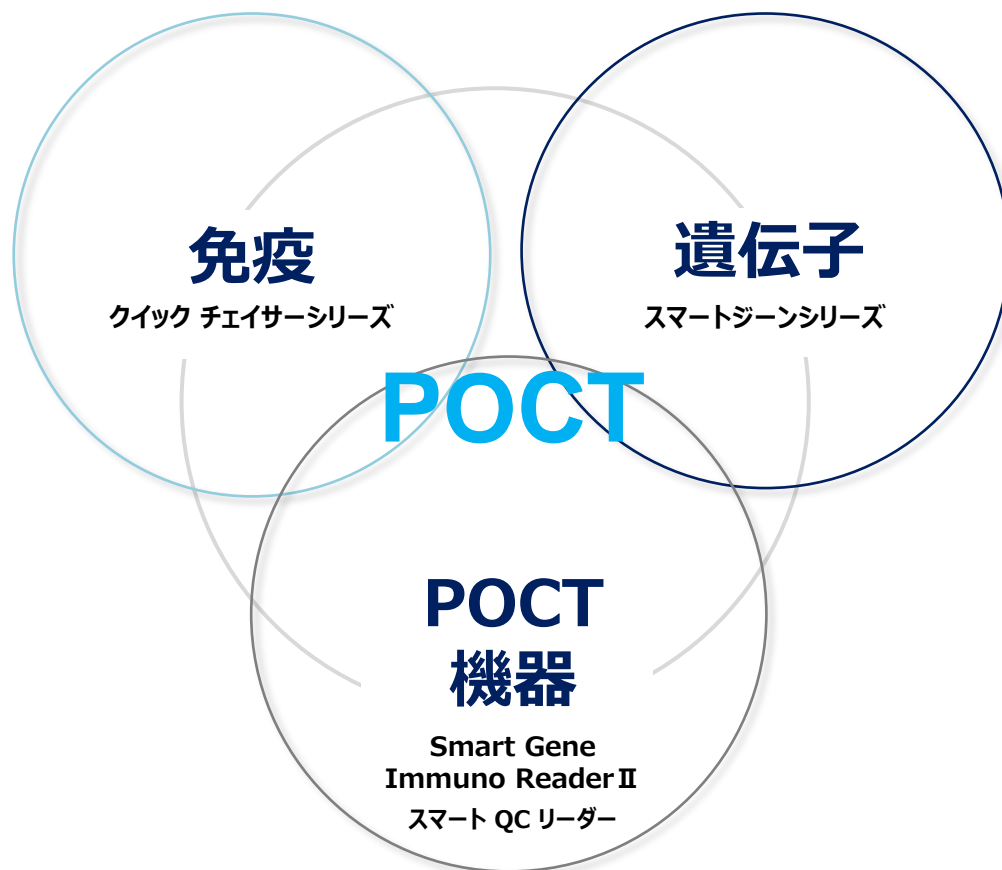


久留米工場・遺伝子研究所（福岡県久留米市）

Ⅱ 事業概要



病院・開業医分野



OTC・その他分野



※POCT (Point of Care Testing) : 診察室、病棟及び外来患者向け診療所など、患者に近い医療現場での検査

(1) POCT迅速診断キット(機器判定・目視判定)

▶ スマート QC リーダー(クイック チェイサーシリーズキット測定用医療機器)

デンシトメトリー分析装置

スマート QC リーダー®



- ◎クイック チェイサーシリーズ (リーダー対応) の読取装置
- ◎機器による客観的な判定 (発色濃度を画像解析) が得られ、目視判定時の迷いを解消
- ◎2023年2月 スマート QC リーダー対応 SARSコロナウイルス抗原キット「クイック チェイサー SARS-CoV-2」を発売開始

2023
2月発売

【スマート QC リーダー対応試薬】



【製品の特長】

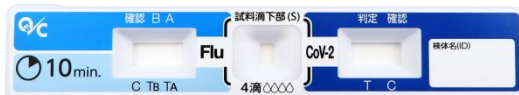
- ◆ 選べるモード設定
 - ①ヨミトリ (反応時間経過後に機器が判定)
 - ②ジドウソクテイ (試料滴下後に自動測定)
- ◆ 検査結果は自動でプリントアウト
- ◆ 軽量 (0.7kg)、コンパクトで持ち運び可能 103×220×125mm (幅×奥行×高さ)
- ◆ 時間管理が不要 (※モードによる)



クイック チェイサー シリーズ (業界トップクラスのラインナップ)

大病院からクリニックまで、どのような医療現場でも使うことができる、POCT製品(迅速診断キット)シリーズ

呼吸器感染症検査薬



SARSコロナウイルス/
インフルエンザウイルス



hMPV



RSウイルス



マイコプラズマ

消化器感染症検査薬

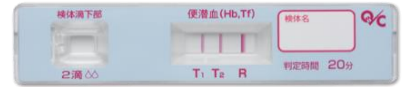


ノロウイルス



ロタウイルス/
アデノウイルス

尿糞便検査薬



便潜血



クロストリジウムディフィシル



H. ピロリ

➤ 高感度感染症迅速診断システム

デンシトメトリー分析装置

クイック チェイサー Immuno Reader II

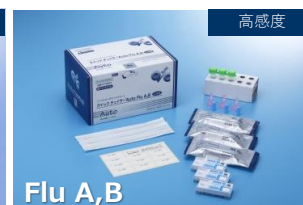


◎ 当社のメンブレン技術と富士フィルム株式会社の写真現像技術を融合した銀増幅反応により高感度化を実現

◎ 2023年1月
SARSコロナウイルス抗原キット・インフルエンザウイルス抗原キット
「クイック チェイサー Auto SARS-CoV-2/Flu」を発売開始

【AUTOシリーズ専用試薬】

2023
1月発売



【製品の特長】

- ◆ 早期診断が可能 (発症初期の診断精度向上)
- ◆ コンパクト化 (省スペース)
- ◆ タッチパネルの採用 (操作性・視認性向上)
- ◆ バーコードリーダー搭載 (検体ID情報等読取可)
- ◆ 装置による結果判定 (判定結果はモニター表示とプリントアウト)

Immuno Readerシリーズ 累計販売台数：約5,100台

▶ 全自動遺伝子解析システム (PCR・Qプローブ法)

全自動遺伝子解析装置 Smart Gene



- ◎ 遺伝子の抽出・PCR増幅・検出を1つのカートリッジ内で行いコンタミなどのリスクを抑制する簡易迅速な測定操作試薬
- ◎ 2021年4月 SARSコロナウイルス核酸キット「スマートジーン SARS-CoV-2」を発売開始
- ◎ 2022年12月 ヘリコバクターピロリ核酸キット「スマートジーン H.pylori G」を発売開始

【製品の特長】

- ◆ 迅速判定が可能
- ◆ 1ステップ自動判定。試薬ロスができません
- ◆ 核酸分子の配列情報を解析できます
- ◆ コンパクト設計の卓上タイプ
- ◆ タッチパネルでスムーズな操作

Smart Gene 累計販売台数：約5,200台

【Smart Gene専用試薬】



▶ 全自動遺伝子解析システム (PCR・Qプローブ法)

微生物/遺伝子検査が身近に

～SARSコロナウイルス感染症(COVID-19)の検査体制の拡充への貢献を目指す～



体外診断用医薬品

SARSコロナウイルス核酸キット

スマートジーン® SARS-CoV-2

【試薬の特長】

- ◆ 煩雑な前処理不要 (RNA抽出作業が不要)
- ◆ 新型コロナウイルスの検出が試料滴下からわずか約60分の迅速判定
- ◆ 開業医・診療所などで、院内検査が可能

➤ 全自動遺伝子解析システム（PCR・Qプローブ法）

微生物/遺伝子検査が身近に

～日本で初めての胃内視鏡廃液を利用した高感度遺伝子測定～

2022年11月 保険収載



体外診断用医薬品

ヘリコバクターピロリ核酸キット

スマートジーン® H.pylori G

【試薬の特長】

- ◆ 感染診断とクラリスロマイシン感受性の判定が可能
- ◆ 煩雑な前処理不要（RNA抽出作業が不要）
- ◆ 内視鏡検査当日に適切な除菌薬が選定できる
- ◆ 開業医・診療所などで、院内検査が可能

2022年
12月発売

OTC・その他分野の主な製品

OTC（薬局・薬店）向け製品



➤ 妊娠検査薬 ・ 排卵日検査薬

◎ 自社ブランド「P-チェック」での販売や大手チェーン店とのPB提携も実施

【妊娠検査薬】



【排卵日検査薬】



◎ アリナミン製薬株式会社 販売の「ハイテスターシリーズ」

【妊娠検査薬】



【排卵日検査薬】



Ⅲ 2023年12月期

- ・第2四半期決算実績**
- ・通期業績予想(2月10日公表)**



➤ 業績ハイライト(第2四半期累計)

✓売上高	4,575百万円	(前年同期比 37.4%減, 予想比 4.8%減)
✓営業利益	1,903百万円	(前年同期比 58.4%減, 予想比 5.6%増)
✓経常利益	2,053百万円	(前年同期比 55.2%減, 予想比 13.2%増)
✓四半期純利益	1,461百万円	(前年同期比 54.4%減, 予想比 11.4%増)

※予想は、2023年2月10日公表

➤ ポイント

✓前年同期比：

新型コロナウイルス感染症の第8波の急速な収束や5類移行などの大きな環境変化により、新型コロナの遺伝子検査キットは影響を受けたものの、抗原キットやその他感染症項目は増加

✓予想比：

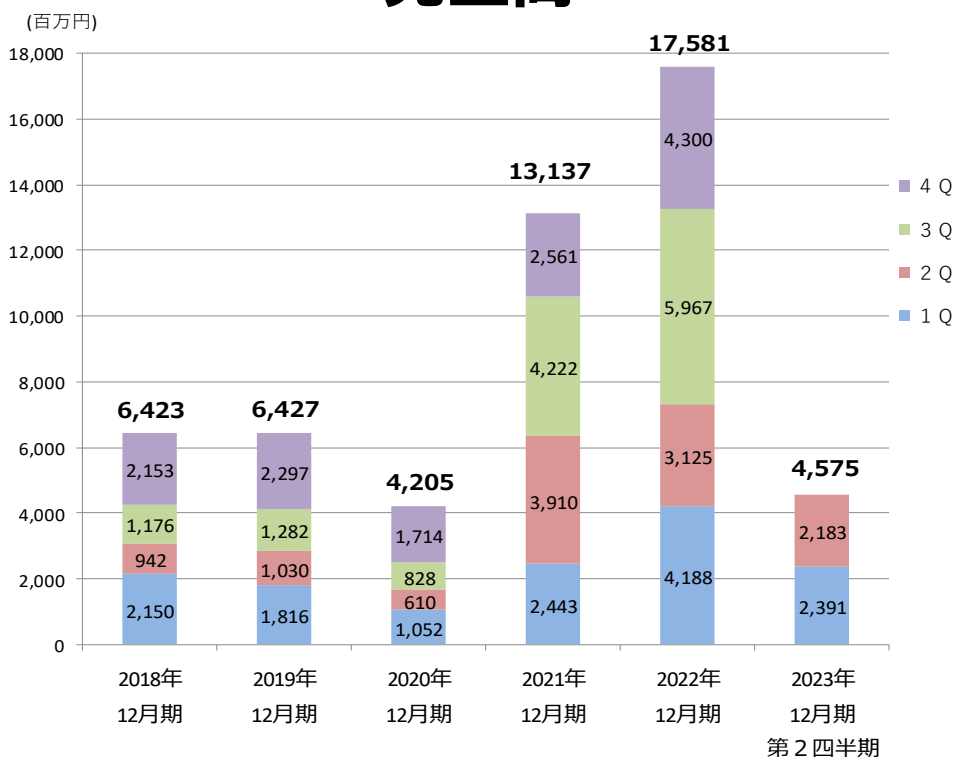
売上高は計画をやや下回ったものの、変動費減少、販管費抑制及び為替差益などにより、各利益は計画を上回る

2023年第2四半期決算実績 業績の推移（売上高、経常利益）

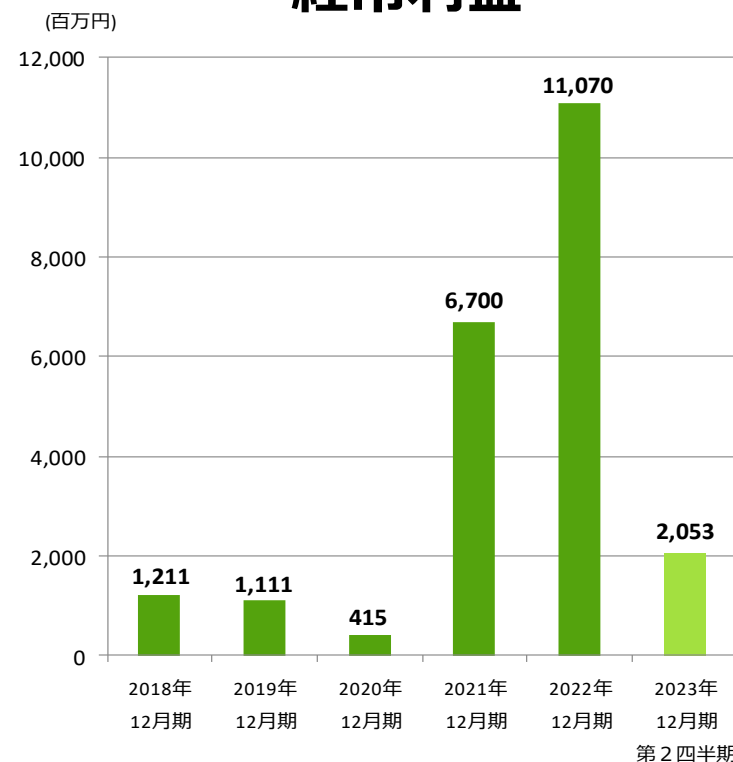


- 2023年(2Q)：新型コロナの遺伝子検査キットは5類移行等の影響を受けるも、各抗原キットは好調
- 2021-22年：新型コロナウイルス感染症の感染再拡大を背景に、全自動遺伝子解析装置 Smart Gene、遺伝子検査キット及び各抗原キットの需要が拡大し、大幅な増収増益
- 2020年：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一時的に全体の売上高・利益が縮小
- 2019年まで：売上高の約50%はインフルエンザ検査薬（流行期の1Qと4Qに集中）

売上高



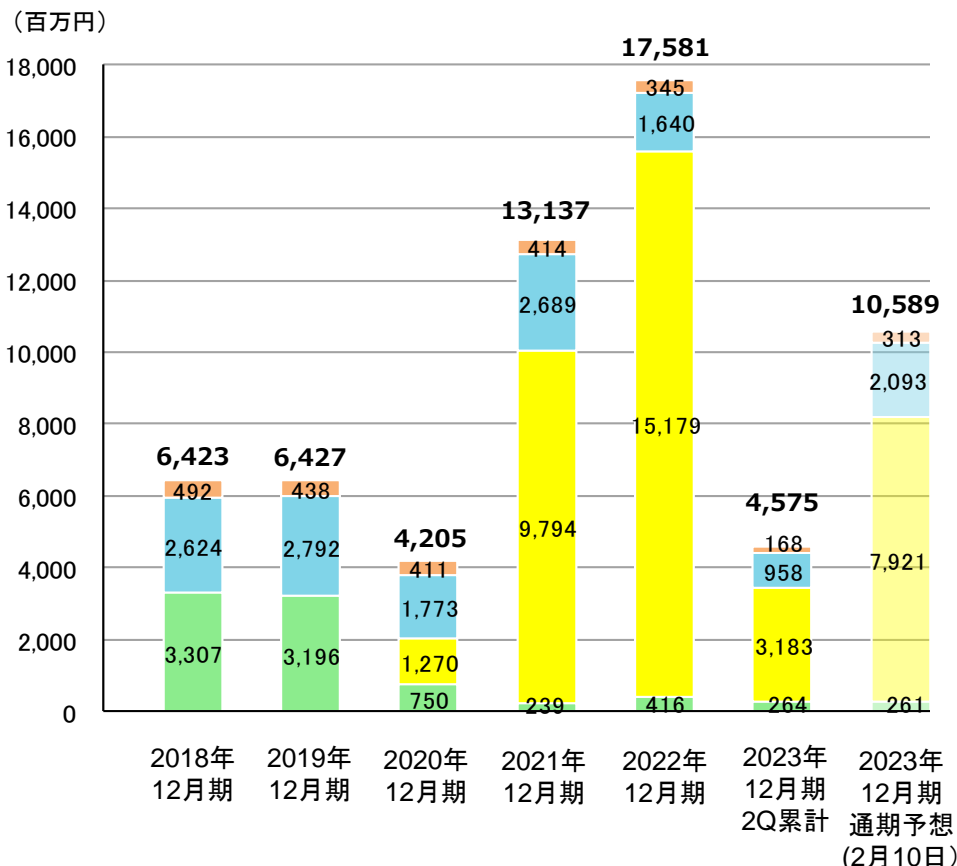
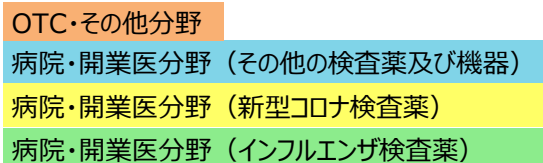
経常利益



2023年第2四半期決算実績 市場分野別の売上高推移



市場分野別の売上高



2023年第2四半期累計（4,575百万円 前年同期比 37.4%減）

- 新型コロナウイルス感染症の第8波の急速な収束、5月の5類移行という大きな環境変化により、遺伝子検査キットは、低調(2~5月)
- 新型コロナの抗原キットは好調（特にCoV/Flu同時検査）
- その他の感染症は、行動制限の緩和や5類移行により、ほぼ全ての項目で需要急増(回復途上)

■ 病院・開業医分野（4,407百万円 同38.4%減）

◇ 新型コロナ検査薬（3,183百万円 同50.4%減）

- ・遺伝子検査キット(スマートジーン SARS-CoV-2)
35万テスト(前年同期は100万テスト)
- ・抗原キット (CoV/Flu同時検査、CoV、銀増幅法含む)
計143万テスト(前年同期は120万テスト)と増加

◇ インフルエンザ単独検査薬（264百万円 同90.8%増）

- ・3年ぶりに流行入りしたインフルエンザは、異例の夏の流行が続き、大幅な増加

◇ その他の検査薬及び機器（958百万円 同60.7%増）

- ・全自動遺伝子解析装置Smart Geneは、出荷は約200台(前年同期は400台出荷) 累計販売台数は約5,200台
- ・その他の感染症項目の検査薬は、5類移行の影響もあり、ほぼ全ての項目で需要が急増し、大幅な増収

■ OTC・その他分野（168百万円 同2.8%増）

◇ 妊娠検査薬及び排卵日検査薬

- 新型コロナウイルス感染症の影響から脱しつつあり増加傾向



➤ 売上高	4,575百万円	(前年同期比 37.4%減、	予想比 4.8%減)
➤ 経常利益	2,053百万円	(前年同期比 55.2%減、	予想比 13.2%増)

- ✓ 前年同期比：新型コロナウイルス感染症の第8波の急速な収束、5類移行などの大きな環境変化により、遺伝子検査キットは影響を受けるも、抗原キット及びその他感染症項目は増加
- ✓ 予想比：売上高は計画をやや下回るも、変動費減少、販管費抑制及び為替差益等により各利益は計画を上回る

(百万円)

	2022年12月期		2023年12月期							
	2Q累計実績		2Q累計予想 (2月10日公表)		2Q累計実績		前年同期比		予想比 (2月10日公表)	
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	構成比 %	増減額	増減率 %	増減額	増減率 %
売上高	7,313	100.0	4,804	100.0	4,575	100.0	△2,738	△37.4	△228	△4.8
売上総利益	5,930	81.1	3,407	70.9	3,253	71.1	△2,677	△45.1	△154	△4.5
販売費及び 一般管理費	1,354	18.5	1,604	33.4	1,349	29.5	△4	△0.3	△255	△15.9
営業利益	4,575	62.6	1,802	37.5	1,903	41.6	△2,672	△58.4	100	5.6
経常利益	4,580	62.6	1,813	37.8	2,053	44.9	△2,527	△55.2	239	13.2
四半期 純利益	3,203	43.8	1,312	27.3	1,461	31.9	△1,742	△54.4	149	11.4

2023年第2四半期決算実績 貸借対照表 B/S（資産）



- 主に新型コロナウイルス検査薬に係る売上債権の回収に伴い、売上債権が減少し、現金及び預金が増加

（百万円）

	2022年 12月末	2023年 2Q末	増減額	主な増減内容
流動資産	16,500	13,947	△2,553	
現金及び預金	8,702	9,940	1,238	・売上債権回収に伴う増加
売上債権	6,389	2,436	△3,952	・主に新型コロナウイルス検査薬に係る売上債権回収による減少
棚卸資産	1,267	1,470	202	
その他流動資産	141	99	△41	
固定資産	2,601	2,611	9	
有形固定資産	2,153	2,198	45	
無形固定資産	14	13	△0	
投資その他の資産	434	398	△35	
資産合計	19,102	16,558	△2,543	

2023年第2四半期決算実績 貸借対照表 B/S（負債・純資産）



（百万円）

	2022年 12月末	2023年 2Q末	増減額	主な増減内容
流動負債	3,921	1,670	△2,251	
仕入債務	737	444	△293	
短期借入金	—	—	—	
その他流動負債	3,184	1,226	△1,957	・未払法人税等の減少△1,665
固定負債	897	953	55	
長期借入金	—	—	—	
その他固定負債	897	953	55	
負債合計	4,819	2,623	△2,195	
株主資本	14,282	13,934	△348	
資本金	464	464	—	
資本剰余金	274	274	—	
利益剰余金	13,545	13,197	△348	・22年12月期配当金△1,809 ・四半期純利益1,461
純資産合計	14,282	13,934	△348	
負債純資産合計	19,102	16,558	△2,543	

2023年第2四半期決算実績 キャッシュ・フロー計算書 C/F



- 営業活動によるキャッシュ・フローは、主に新型コロナウイルス検査薬に係る売上債権の回収及び税引前四半期純利益により増加

(百万円)

	2022年2Q (1月～6月)	2023年2Q (1月～6月)	主な増減内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,211	3,069	<ul style="list-style-type: none"> ・税引前四半期純利益 (+2,053) ・売上債権の減少 (+3,952) ・法人税等の支払 (△2,160) ・仕入債務の減少 (△293) ・未払消費税等の減少 (△229) ・棚卸資産の増加 (△202)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75	△147	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産の取得 (△140)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△998	△1,807	<ul style="list-style-type: none"> ・配当金の支払 (△1,807)
現金及び現金同等物の増減額	1,137	1,115	
現金及び現金同等物の期首残高	4,326	7,375	
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,464	8,490	

2023年12月期 業績予想 通期業績予想（2023年2月10日予想）



2023年下半期の見通し

■ 下半期見通し：5類移行後、新型コロナウイルス感染症をはじめ、感染症それぞれの今後の流行を予測することは困難だが、全体としては通期業績予想は達成可能と見込む

- ✓ 新型コロナ検査薬 ⇒ ・今後の感染拡大動向は予測困難だが、足元では定点把握の感染者数は増加傾向継続(第9波との指摘)
・抗原キット(特にCoV/Flu同時検査)は、今後も高い需要が継続することを予想
- ✓ インフルエンザ検査薬 ⇒ 3年ぶりに流行入りし、現在も異例の夏場の流行が続いており、次シーズンはより大きな流行も予想される
- ✓ その他感染症項目 ⇒ その他感染症項目は、需要の回復途上であり、今後はコロナ禍前の状態に近づいていくと予想

(百万円)

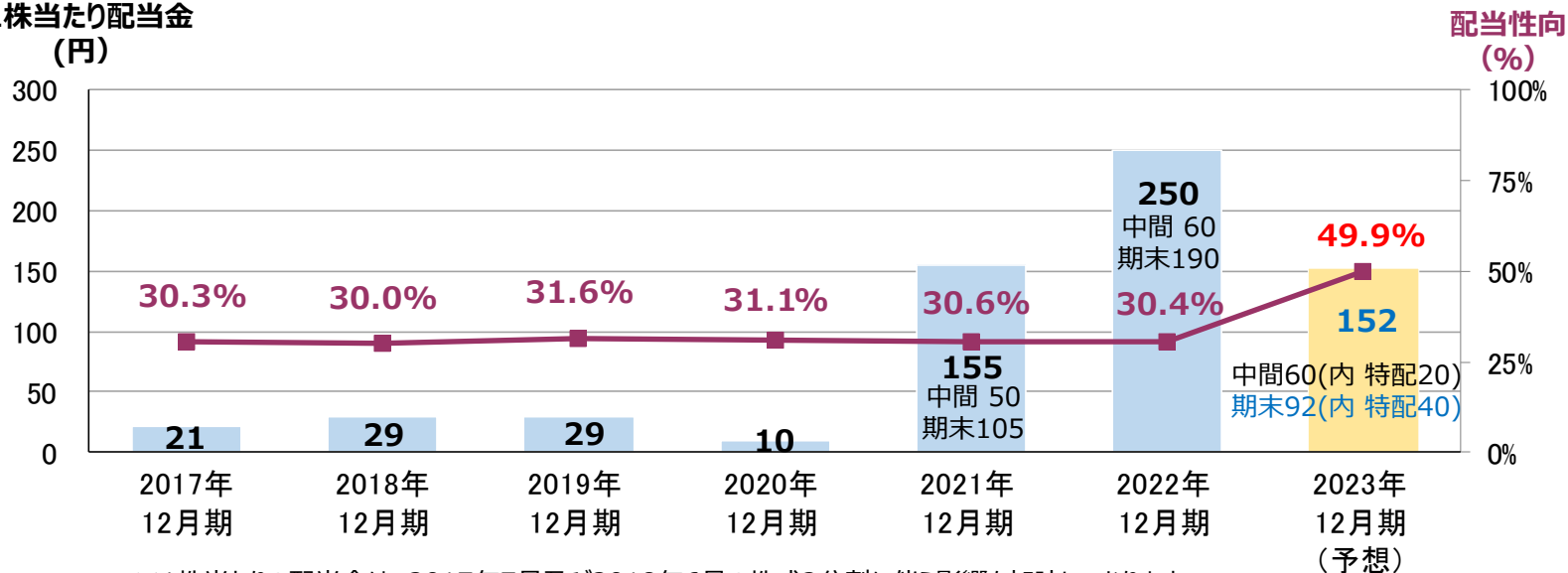
	2023年12月期				
	2Q累計実績		通期予想(2月10日公表)		2Q累計 進捗率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
売上高	4,575	100.0	10,589	100.0	43.2
売上総利益	3,253	71.1	7,341	69.3	44.3
販売費及び一般管理費	1,349	29.5	3,329	31.4	40.5
営業利益	1,903	41.6	4,011	37.9	47.5
経常利益	2,053	44.9	4,023	38.0	51.0
当期純利益	1,461	31.9	2,902	27.4	50.3

配当方針

『業績に応じた配当を行うことを基本としつつ、配当性向、企業体質の一層の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案して決定』 ⇒ この方針を踏まえ、配当性向30%を目標

- **2023年12月期の配当金については、2Qまでの業績の進捗状況及び財政状態等を勘案し、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、特別配当を実施**
- 中間配当(実績) **40円(普通配当) + 20円(特別配当) = 計60円**
- 期末配当(予想) **52円(普通配当) + 40円(特別配当) = 計92円**
- 年間配当(予想) **92円(普通配当) + 60円(特別配当) = 計152円 ⇒ 配当性向 約50%(49.9%)**

1株当たり配当金
(円)



※1株当たりの配当金は、2017年7月及び2018年6月の株式2分割に伴う影響を加味しております。

IV 今後の成長戦略

▶ 遺伝子POCT検査機器・試薬システム

- 2022年11月 1日 : ヘリコバクター・ピロリ核酸キット
「スマートジーン H.pylori」新規保険適用
(ヘリコバクター・ピロリ核酸及びクラリスロマイシン耐性遺伝子検出
保険点数360点)
- 2022年12月19日 : ヘリコバクター・ピロリ及びクラリスロマイシン耐性遺伝子検出
「スマートジーン H.pylori G」販売開始

▶ 高感度感染症迅速診断システム

- 2023年 1月17日 : 新型コロナウイルス及びインフルエンザウイルス抗原同時検出キット
「クイックチェイサー Auto SARS-CoV-2/Flu」販売開始

▶ クイックチェイサーシリーズ

- 2022年 4月25日 : 新型コロナウイルス抗原検出キット
「クイックチェイサー SARS-CoV-2」
(2023.2.27 スマート QCLリーダー適合キット品 発売開始)

▶ 遺伝子POCT検査機器・試薬システム Smart Gene

遺伝子抽出・PCR増幅・検出全てが内蔵されたカートリッジ

・前処理不要の1ステップ ・検体滴下から40～60分で結果出力 ・結果をプリントアウト

■ 消化器感染症品目

スマートジーン® H.pylori G



スマートジーン® CDトキシンB



■ 呼吸器感染症品目

スマートジーン® SARS-CoV-2



スマートジーン® Myco



スマートジーン® Flu A,B



Smart Gene®
全自動遺伝子解析装置

▶ 遺伝子POCT検査機器・試薬システムの効果

スマートジーン 機器試薬システム

- ・ 簡易迅速な操作性 <院内検査が可能>
- ・ コンパクトで低コストな装置 <診療の場で結果出力>
- ・ Qプローブ法により 同時変異検出 <適切な抗菌薬処方>

アフターコロナ後、遺伝子検査の普及拡大 ⇒ 各種感染症項目における遺伝子検査を実現

● 感染症の早期確定診断と早期治療

検査実施日のうちに検査結果を提供

基幹病院 : フレキシブルな検査の実施
(緊急処置や隔離を要する患者・術前患者の検査)

クリニック : 外注検査から院内検査へ
市中病院 (熱発患者など当日治療を要する患者の検査)

● 薬剤耐性菌の早期鑑別

抗菌薬の不適切な使用の防止

抗菌薬の選択 : 薬剤感受性試験 (増菌培養及び薬剤感受性試験に数日必要)

↓
遺伝子POCT検査により当日診断と投薬処方

▶ 呼吸器感染症から消化器感染症への展開

ヘリコバクターピロリ菌感染症除菌治療への効果
<2022年12月26日 スマートジーン H.pylori G発売>

- 特別な検体採取不要（内視鏡検査時に採取した胃洗浄廃液中のピロリ菌を検出）
- 内視鏡検査当日中に確定診断結果判定
 - ※現在の検査 : 内視鏡時組織採取のうえ培養検査 もしくは
内視鏡検査後呼気や便採取のうえ検体検査
- 薬剤耐性菌同時診断（クラリスロマイシン耐性ピロリ菌鑑別診断）
- 当日中に投薬処方確定（クラリスロマイシン感受性時 ⇒ 一次除菌処方治療、
クラリスロマイシン耐性時 ⇒ 二次除菌処方治療）
 - ※これまでの治療 : 一次除菌実施 → **失敗の場合** → 二次除菌実施

▶ 遺伝子POCT検査機器・試薬システムのさらなる展開

スマートジーン診断キット ラインナップ

呼吸器 感染症項目

- マイコプラズマ
※マクロライド耐性変異検出
による薬剤耐性鑑別
- 新型コロナウイルス
- インフルエンザウイルス
(2022.1.19発売)

各種項目開発中

消化器 感染症項目

- CDトキシンB
※院内感染対策
- ヘリコバクターピロリ菌
(2022.12.19発売)
※マクロライド耐性変異検出
による薬剤耐性鑑別

各種項目開発中

泌尿器,婦人科 感染症項目

各種項目開発中

Smart Gene

設置台数 5200台

設置施設 3500施設

▶ 技術をベースにした成長戦略

新規診断技術の創出

ウイルス・細菌検査をベースに技術革新

確定診断技術

- ◎ **遺伝子POCT検査による確定診断機器・試薬システムの市場展開**
 - ・呼吸器感染症項目
 - ・消化器感染症項目
 - ・薬剤耐性菌項目
 - ・泌尿器感染症、婦人科感染症項目
- ◎ **遺伝子POCT検査をさらに迅速化**
- ◎ **遺伝子マルチ検査システムの開発**
(複数検体・複数項目同時測定)



マーケット展開

病院・開業医分野

その他分野

- ◎ **感染初期の確定診断需要を拡大**
- ◎ **新たな遺伝子診断市場への展開**
- ◎ 環境・食品検査分野への応用開発
 - ・遺伝子POCT技術を応用した環境・食品微生物検査への展開

IRに関するお問い合わせ先

株式会社ミズホメディー 総務部

電話：0942-85-0303

お問い合わせフォーム：https://www.mizuho-m.co.jp/ir/ir_contact

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。